

平成 25 年度各会計決算の概要	2 ～ 3
平成 25 年度各会計決算総括質疑	4 ～ 6
こんなことが決まりました	7 ～ 10
一 般 質 問	11 ～ 14
こども園の歌・研修会・災害対策・議会活動日誌 ..	15 ～ 16



一般会計決算

9 月定例会

歳入
総額 **36億1,335万9千円**

(前年度比 14.9%増)

歳出
総額 **34億9,779万2千円**

(前年度比 15.5%増)

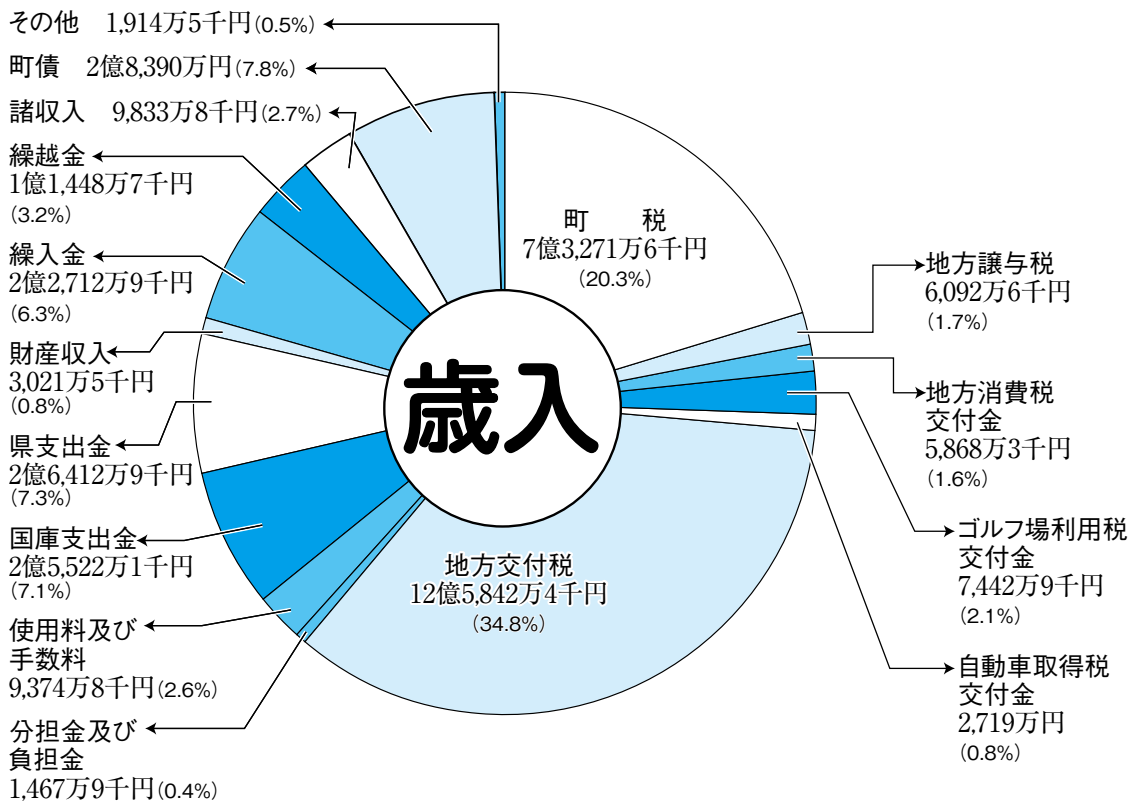
※この決算報告の額については、千円未満を四捨五入しています。

決算の概要

財政面では、財政調整積立基金は減少しているが、經常収支比率の減少や債務の減額など、財務指標は改善傾向にあります。

一方、厳しい雇用情勢や少子高齢化による生産年齢人口の減少などを考えると財政基盤が安定しているとはいえない状況です。

主な事業は、町制施行30周年記念事業の推進、交付金を活用した環境保全と施設改修、年間を通じた有害鳥獣駆除の取り組み、若者定住型賃貸住宅の建設、こども園の待機児童ゼロの継続、アフタースクールの実施、健診内容の充実と個別の充実、災害時の防災設備の整備と情報伝達体制の充実に努めています。



町制施行30周年記念事業 若者定住型賃貸住宅の建設

平成26年第3回議会定例会は、9月9日、10日の2日間を会期として開催されました。

提案された議案10件は質疑の後、原案どおり可決、諮問1件が採決されました。

平成25年度一般会計ほか5特別会計決算は、総括質疑を行い、決算審査特別委員会を設置し審査を付託しました。一般質問は、4議員が行い町政の課題を問いました。

決算審査特別 委員会を設置

平成25年度各会計決算を審査するため特別委員会を設置、委員に副議長と各常任委員会から2名選出し次の7名が選任されました。また、オブザーバーとして議長が出席しました。

委員会委員構成

委員長	副委員長	委員
田邊 明佳	清野 彰	中村 義徳
萩野 安夫	麻生 憲一	田中 裕一
市原 裕一	田中 裕一	萩野 安夫



審査する特別委員会



佐貫災害復旧工事現地視察

特別会計決算

国民健康保険特別会計

歳入総額 **11億1,225万円**

歳出総額 **10億6,752万1千円**

加入状況は1,405世帯、被保険者数2,574人です。
歳出の主な内容は、療養給付費、後期高齢者医療制度支援、特定健診及び保健指導、人間ドックの助成等です。

農業集落排水事業特別会計

歳入総額 **7,974万6千円**

歳出総額 **7,617万6千円**

農業排水処理施設は138戸が供用し、特定生活排水施設が265基です。

歳出の主な内容は、施設の維持管理費、特定生活排水事業費等です。

介護保険特別会計

歳入総額 **6億8,985万2千円**

歳出総額 **6億6,853万5千円**

介護認定者は昨年比17人増、サービス利用は昨年比17人増です。

歳出の主な内容は、保険給付費、介護予防事業・総合相談事業・包括支援事業等です。

かずさ有機センター特別会計

歳入総額 **3,316万9千円**

歳出総額 **3,294万8千円**

歳出の主な内容は、かずさ有機センター運営経費です。

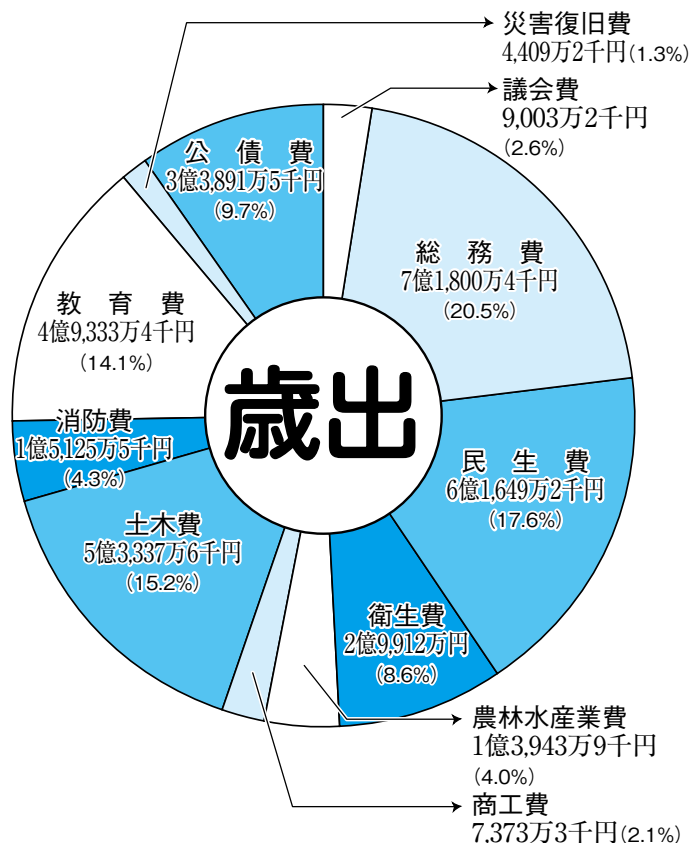
後期高齢者医療特別会計

歳入総額 **7,189万円**

歳出総額 **7,132万3千円**

被保険者数は、特別徴収が1,153人、普通徴収が278人です。

歳出の主な内容は、後期高齢者医療広域連合納付金、人間ドック補助金18名分等です。



(報告第1号)
平成25年度陸沢町健全化判断比率
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定による、健全化判断比率が監査委員の審査に付され、その意見をつけて議会に報告、公表されました。
平成25年度は昨年度より率が下がり、健全化の方向です。

(報告第2号)
平成25年度陸沢町農業集落排水事業特別会計資金不足比率
公営事業としての、陸沢町農業集落排水事業特別会計資金不足比率についても報告第1号同様に報告、公表されました。
資金不足そのものがありませんでした。

※表中の実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、赤字額がないため「-」と記載しています。

健全化判断比率				(単位：％)	
指 標		平成 24 年度	平成 25 年度	早期健全化基準	財政再生基準
ア	実質赤字比率	－	－	15.00	20.00
イ	連結実質赤字比率	－	－	20.00	30.00
ウ	実質公債費比率	9.5	9.0	25.0	35.0
エ	将来負担比率	39.2	35.7	350.0	

一 般 会 計

総 務

田邊明佳議員 限られた財

源の中で選択と集中により住民福祉に向け取り組みをしているが、25年度におけるこれぞ集中と選択だという施策は。

町長 緊急を要する事業だ

った防災行政無線、健康をテーマにした健康むつざわロードレース大会、また人口対策というようなことで種々取り組みました。

幸治孝明議員 リバーサイ

ドの入居条件だった地元自治会加入等、申し出通りに

なっているのか。

生活環境・地域整備担当主

幹 リバーサイドは上之郷

区ですが、18戸全て自治会に加入しています。

田中憲一議員 防災行政無

線は屋外に関して充実をはかったそうだが、個別はどうなっているのか。

町長 個別受信機につきま

しては、デジタル化により聞こえない範囲が拡大することや機器の価格が高価なことなどの問題があります。

政策企画担当主幹 有利な

補助事業がなく、アナログの周波数使用期限が来るま



リバーサイドタウン

ではアナログ対応でいきな

いと思います。

市原時夫議員 町制30周年事業は、もう少し簡素なものでもよかったのではない

か。

町長 反省点も多少ありますが、過去の記念事業に比べても、結果的には陸沢町らしく、町民にとっても心に残るものであったと思っております。

財 政

市原時夫議員 実質公債費

比率等の算定の中で一部事務組合の起債返還の部分が減ったということを、今度の決算の中でどのように認識しているのか。

町長 広域については、一

部の起債償還が終わりましが、今後、し尿処理場、消防署の改築などが見込まれます。各市町村が負担を増やしたくないことから、サービスが低下しない程度で、少ない財源の中から対応してまいります。

総務課長 広域での起債の借入償還額が今一番底なの

で、これから上がってくる

ことを加味した財政運営をしてまいります。

幸治正雄議員 不能欠損額

が541万円で、前年より220万円程増えているが。

税務住民課長 人数が60名

ほどで生活困窮の方、所在のわからなくなった方、全く財産のない方、様々な要件がありました。

議員 不払いがあると公平

さに欠けるのでは。

課長 差別のない徴収、また徴収率の向上に努めてまいります。



健幸むつざわロードレース大会

麻生安夫議員 インターネ

ット公売の成果は。

税務住民課長 7回出品し、物件41件、落札19件でした。成果は、12万9千円でした。

福 祉

市原時夫議員 育児の虐待

防止とは、具体的には、どういう意味だったのか。

健康福祉課長 虐待防止対

策ネットワーク協議会の見回りや保健師による乳児訪問を行い、子育て支援を実施しています。

総括質疑

地域振興

田邊明佳議員 任期付き職員

の町の農業に対してどのような効果があつたのか。

町長 睦沢町の農業の根幹をなす、かずさ有機センターに力を入れ、そこから集

落へ波及し、地道ですが一つずつ積み重ねることによって成果が出てくると思います。

議員 あまりにも成果がでていないのでは。特別な効果を期待していたのだから、かんばしくないならお引き取り願ったらどうか。若い職員を入れた方が有益では。

町長 職員は定数管理をしながら採用をしています。ご理解ください。

議員 農業活性化推進基金だが、情勢を見るに将来を見据え前向きに取り組んだ額といえないのでは。

町長 基金は財源の厳しいなか、当初予算を上回る積立でしたが十分だとは考えていません。国の補助金等最大限活用して睦沢町の農業振興に前向きに取り組んでまいります。

市原時夫議員 監査委員の意見に、つどいの郷むつざわの施設整備や管理体制を再度検討されたいとあるが、この再度検討とは。



かずさ有機センターもみ殻



カラー舗装された道路（上市場）

代表監査委員 これまでも様々な検討がなされたと同じく、現施設も手狭な上、借地で7年後に更新ということなので管理運営体制も長期を見据えて検討いただきたいということですが、**清野彰議員** 通学路のカラー塗装について、今後の予定は。
生活環境・地域整備担当主幹 小中学校通学路安全協議会で、安全点検等をしておりますので、その中で協議して、実施していきます。

環境

田邊明佳議員 24年度を超える有害鳥獣の捕獲とあるが、捕獲数を上回るペースで有害鳥獣が増えているのでは。

町長 実態をみますと捕獲以上に増えているようですが、今年度も新しい対策を講じ今後も努力してまいります。

市原時夫議員 イノシシ以外の有害鳥獣については、どうか。
生活環境・地域整備担当主幹 小動物用の檻を設置し駆除しています。昨年度は、

アライグマが78頭、ハクビシンが28頭です。

中村義徳議員 有害鳥獣の捕獲隊をつくる考えは。

生活環境・地域整備担当主幹 今年度実施隊をつくり他地域の情報を得ながら協議検討させていただきます。

麻生安夫議員 現在、金久保排水機場の計画策定中だが、状況は。

生活環境・地域整備担当主幹 昨年調査し、今の排水機場の能力で対応できるという結果がでましたので、湛水防除事業の採択要件に合わず、他事業での改修を検討しています。



小動物用の檻に捕獲されたアライグマ

疑 質 括 総



農業集落排水事業
特別会計

幸治孝明議員 河川や堰の汚染状況の数値が出ているがBOD・大腸菌数いずれもよくない。トイレ、生活排水が流れ込んでいるためと思われる。毎年1基でも多くの合併浄化槽の設置が望まれるが。

生活環境・地域整備担当主幹
年間20基の設置を考え

ています。リバーサイドの
関係で昨年は多いのですが
PRを十分行っていきたい
と考えます。

括

市原時夫議員 水質調査の結果が悪いのは新たな汚水発生源があるのか。また起債償還グラフを見ると平らになっているが今後の考え方はどうか。

介護保険特別会計

生活環境・地域整備担当 幹 水質の改善は見られませんが、工場進出もなく新たな発生源は考えにくい状況です。

農業集落排水事業は工事に国県の補助金および個人の負担金などをあて、残った分について起債対応させていただいています。

20基を毎年設置する予定で償還グラフは多少右肩上がりです。

かずさ有機
センター特別会計

中村義徳議員 かずさ有機センターができて以来、たい肥を使用し倒伏もせず食味もよい。ただ米価下落の時代、補助金次第でたい肥散布もできるが、今後は不透明である。素晴らしいたい肥でいい米を作っていることを外へPRすることが重要だと思うが。

町長 むつざわ米は、かずさ有機センターを核として消費者の方に安心して食べていただきたいと考えます。ふるさと納税について1万円以上に26年産米を白米



グループホーム（川島）

にして届けることとしました。が対応が間に合わないようです。27年度は途切れないよう十分な対応の力がありますのでふるさと納税でむつざわ米をPRしていきたいと考えます。

市原時夫議員 飼養頭数の

減少で今後どう考えるか。
町長 このままでは原料は
足らなくなると考えます。

今後は町を越えて原料を受け入れることも考えなくてはならないと思っています。その自治体への負担金の問題まで至っていませんが、一宮町も含め今後の検討をしなければと考えています。

後期高齢者
医療特別会計

市原時夫議員 保険料賦課徴収票作成業務委託料交付金等で126万円とある。これに伴う歳入、歳出はどうなっているか。

国保健康担当主幹 歳出として保険料賦課徴収票作成

業務委託料等が42万9千円
と人間ドック委託料の長寿
健康増進事業補助金83万5
千999円です。これらの合計
が広域連合から交付されま
す。

議員 徴収票というのは委託しているのか。

主幹 町で作っています。
町が委託を受けて発行していることになります。



グループホーム（上之郷）

こんなことが決まりました



こども園築山

(議案第1号)

睦沢町土地開発基金条例を廃止する条例の制定

地価の急激な高騰に対応するため運用してきた基金を一般会計に繰り入れ、より有効な運用を図るものです。

質疑

市原時夫議員 基金の今後の活用はないとのことだが、政策的な点か経済的な条件なのか。

町長 基金を造成した当時は金利・利息共に高く、現状では低金利でコンマ以下という経済的な理由と、現在まで一回のみの使用で今後使用する事も当面考えられないため、有効に利用してまいります。

(議案第2号)

睦沢町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

「子ども・子育て関連3法」が成立したことにより国が示した「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」を踏まえ、条例で定めるものです。

質疑

田邊明佳議員 この条例によって町の保育事業に何らかの影響はあるのか。

健康福祉課長 現在3歳児未満の保育は100%認定こども園で見えていますので、影響はありませんが、大規模企業の進出があった場合などはこの基準が生きてきます。

市原時夫議員 実体的にもこの条例の必要がなく、保育サービスもマイナスになる問題を含んでいるのではないか。

健康福祉課長 「子ども・子育て関連3法」により市町村で条例を定めなければならず、法律が平成27年4月1日から施行されるので民間の場合、基準がなければ稼働していきません。

議員 待機児童のいない睦沢町にこの条例はそぐわないのでは。

町長 町には不要かと思いますが、全国的に一律に条例を定めるものです。町民にとっては選択肢が増え、より充実するかと思えます。
議員 選択肢の問題ではなく、現在のこども園などの制度よりも明確に悪化する内容が問題ではないか。
教育長 この条例によってこども園が後退するというのではなく、今まで以上に充実するよう努めてまいります。

(議案第3号)

睦沢町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

「子ども・子育て関連3法」が成立したことにより国が示した「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」を踏まえ、市町村で条例を定めるものです。

質疑

市原時夫議員 確認だが、条例制定によってこども園の内容をより拡充、充実をしていく場合の足かせにならないのか。



学童クラブ

(議案第4号)

睦沢町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

小学校1年生から6年生を対象に学校が終わったあとの保護者が帰宅するまでの間の安全と健全育成を図ろうとするものです。また、国が示した基準どおりとなっています。

健康福祉課長 足かせとなるようなものは全くありません。

こんなことが決まりました

質疑

幸治孝明議員 これまでの学童保育に比べて、しほりが緩くなるようなことはないか。

健康福祉課長 国県からの指針に沿っておりましてので後退するようなことはありません。

今関澄男議員 現行の要綱、要領が今回の運営規定となると考えられるが。

健康福祉課長 現行の要綱、要領は見直しますが、県の指針に沿っておりますので大きく変わることはないと思います。

幸治正雄議員 損害賠償を速やかに行うとあるが司法の判断はどうなるか。

健康福祉課長 賠償は司法の判断が出た後と考えますが、その前段の扱いも速やかに処理すべきと考えます。

町長 双方で合意ができれば賠償ということになります。

市原時夫議員 指導員の待遇改善が保育士等に準じた形で保障されるべきと思うが。



また一人あたりの面積は規定より広くできるのでは。

健康福祉課長 身分保障的なものはありませんが管内の動きを見て調整もできると考えています。

部屋の大きさについては最低基準がうたつてあるのでそれに甘んずることなく努力してまいります。

議員 財源が示されているので指導員の処遇改善ができるのでは。

課長 運営に関するところで今まで以上に向上を図っていきたいと考えます。

(議案第5号)

陸沢町立陸沢こども園条例の一部を改正する条例の制定

中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律の一部を改正する法律が平成26年10月1日から施行されることに伴い陸沢こども園条例を整備するものです。

質疑

市原時夫議員 条例によりどう変わるのか、そして対象者は。

健康福祉課長 支援の対象を特定配偶者まで広がります。そして保育料ゼロの枠が広がると考えています。

なお現在対象者となる保護者はおりません。

(議案第6号)

平成26年度陸沢町一般会計補正予算(第2号)

1億7千24万6千円を追加し、補正後の予算額は33億9千24万9千円となりました。

歳入は国庫補助金で「がんばる地域交付金」2千879

万4千円、先導的官民連携支援事業補助金1千620万円、鳥獣被害防止総合交付金664万2千円、県支出金として市町村防犯設備設置事業補助金500万円、繰入金のうち土地開発基金繰入金については当該基金の廃止に伴い7千737万4千円全額繰り入れます。

歳出は、町内25か所に防犯カメラを追加設置、ふるさと納税のお礼品見直しに伴う経費の追加、音声認識システムの導入、(仮称)むつざわスマートウェルネスタウンの検討、社会保障・税番号制度の導入にかかる電算システム改修及び関係例規整備等、若者定住型住宅分譲地建設事業(上之郷地先)です。



防犯カメラ

質疑

今関澄男議員 顧問弁護士業務委託料は建物引き渡し等ということだが、コンプライアンス推進委員会との兼ね合いは。

総務課長 顧問弁護士も委員ですが、今回の補正では兼ね合いはありません。

議員 企画費の(仮称)スマートウェルネスタウンは多額だが、どの範ちゅううまで委託されるのか。

政策企画担当主幹 事業が成立するのか、事業規模が適正かを検討していただきます。また、町ではPFI事業を手がけたことがないので、専門的な知識を有する方をお願いするものです。
議員 考えられる委託先は、主幹 指名競争入札でなく、プロポーザル方式での提案内容を審査した中で業者を決めたいと思います。

こんなことが決まりました

市原裕一議員 (仮称) パークサイドタウンの分譲見込みは。

政策企画担当主幹 まだまだ需要があると思います。

議員 費用対効果は。

主幹 土地の分譲が完了した時点でプラスの試算です。なので、その後の地域コミュニティ効果、地産地消効果全てが地域に貢献できプラスになっていくという考えです。

議員 民間活力を大いに利用すべきでは。

主幹 色々な事業で妥当性を検証していきます。

議員 補助金利用ばかりでは財政の硬直化につながるのでは。

主幹 補助金があるうちは有効活用し、なくなればそれに応じた事業展開をしたと思います。

幸治正雄議員 住宅リフォーム助成金の大幅な補正の内容は。

生活環境・地域整備担当主幹 当初予算を上回る申し込みがあり、総数で23件を計画しています。

議員 瑞沢小学校の校舎の



はがれたタイル (瑞沢小学校)

タイルがはがれたようだが。
教育課長 今春タイルが落下、校舎南側と東側の玄関部分の上の一部を緊急措置ですが張り替えをさせていただきます。

議員 子供達が危険か所に入らないようにする措置はしているのか。

課長 子供達にはなるべく近寄らない、その下で遊ばないよう学校に措置をお願いしてあります。

田中憲一議員 住宅リフォーム補助金は、申し込み時期によって不平等感を与えないか。

生活環境・地域整備担当主幹

当初見込みより利用が多いので、補正で対応しているのが現状ですが、国の予算の決定待ちの事業です。なので、現在は、先着順で行っております。

議員 パークサイドタウンの利益金の運用等は。

政策企画担当主幹 補助金や住宅奨励金まで相殺すると、300万円のプラスになります。分譲地売り払い収入は、若者定住促進基金へ積み立てて、今後の施策に運用します。

市原時夫議員 住宅リフォームの経済効果は。

生活環境・地域整備担当主幹 町が補助金を支出することによって2千60万円の工事が施行されました。

議員 社会保障・税番号制度の問題で、国が全額負担するのではなかったのか。

税務住民課長 厚生労働省分は3分の2の補助、総務省分では、地方税システムの改修が補助率3分の1で、全額ではないです。

議員 音声認識システムは、最近かなり精度が上がって

いると聞くが。

総務課長 現在、100%音声を文字に直すシステムはありますが、おおむねそれに近いものです。会議録の書き起こしの時間短縮のため導入するものです。

議員 防犯カメラについては、プライバシーの侵害にならないような形が取れるのか。

総務課長 設置場所は、警察との協議が終わりましたら、まず区長さんにお示しをします。個人の玄関先まで写るようでしたら、配慮していきます。

(議案第7号)

平成26年度陸沢町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

365万1千円を追加し、補正後の予算額は10億3千894万9千円となりました。

歳入は前年度の繰越金で、歳出は高齢者医療制度円滑運営事業費補助金の精算に伴う償還金と職員給与費等繰入金及び出産育児一時繰入金の精算による一般会計への繰入金です。

質疑

市原時夫議員 なぜこの時点での補正なのか。

国保健康担当主幹 前年度の決算に伴うものなので、この時期となります。

議員 出産の部分について、人数は。

主幹 当初12人を見込みましたが、5人でした。

(議案第8号)

平成26年度陸沢町介護保険特別会計補正予算(第1号)

2千124万6千円を追加し、補正後の予算額は7億2千87万1千円となりました。

歳入は前年度繰越金で、歳出は、前年度の精算に伴う基金積立金と国・県・社会保険診療報酬支払基金への返還金として追加するものです。



こんなことが決まりました

(議案第9号)

平成26年度かずさ有機セ
ンター特別会計補正予算

(第1号)

1千742万3千円を追加し、
補正後の予算額は3千660万
6千円となりました。

かくはん機の修繕費、も
み設置場等の改修工事、
マニアスプレッダー購入の
費用を追加するものです。

質疑

市原時夫議員 袋詰め足場
設置は具体的にどのような
したのか。

地域振興課長 作業用はし
ごの場所に足場を設置しま
した。

議員 単なる台だと、また
落ちる可能性があるのでは。
課長 溶接等をしてつける
ので、安全面では十分考慮
して対応します。

荻野新衛議員 施設を安全
に運営する。これが根本だ
と思うが、責任者の見解は。
町長 細心の注意を払いな
がら速やかに復旧・改善を
する方向で進めていきます。
幸治正雄議員 歳出の事業
費は散布機を買う予算か。



マニアスプレッダー

地域振興課長 マニアスプ
レッダー購入費です。

議員 マニアスプレッダー
は、使い勝手の問題や故障
が多かったが。

課長 散布量を考えて大型
のものを購入します。

議員 改良されたものを見
込んで購入するのか。

町長 足回りを強化した大
型の機械を選定しました。

中村義徳議員 妙楽寺と川
島が同時に散布できるよう
に2台買えないか。

町長 今ある機械を含め2
台の運用で考えたいと思い
ます。

(議案第10号)

睦沢町教育委員会委員の 任命の同意

教育委員の辞職に伴い、
次の方を任命することに同
意しました。

住所 睦沢町上之郷

2336番地

氏名 飯塚 史美代 氏

昭和42年8月14日生

(諮問第1号)

人権擁護委員の推せん の同意

任期満了に伴い、次の方
を推せんすることに同意し
ました。

住所 睦沢町妙楽寺

987番地

氏名 坂地 澄夫 氏

昭和23年5月29日生

産業建設常任委員会

(調査) 結果報告

計3回にわたり調査を行
いました。調査項目、目的
を協議し現地調査、担当者
の説明、聞き取りを実施し
報告書を作成しました。

調査報告事項

1. 睦沢町における集落営
農の現状

集落営農座談会が開催さ
れ、既に関心を持っていた
大谷木・北山田地区におい
て集落営農組織設立準備委
員会が設立され、現在営農
組織設立に向け計画等を検
討中である。町の今後の集
落営農への取り組みについ
て「睦沢町水田活用ビジョ
ン」を基に地区単位で説明
会を実施中である。

2. たい肥センターについ
て

たい肥の有効利用により
農産物の付加価値を高める
ことが望まれる。

3. 長南町における営農組
合、集落営農組織について
今後個人での農業はでき
なくなるとの見通しで、地
域の農業は皆で守ることを



長南町へ視察

めざし、全農家参加型の営
農組合を推進している。
3 営農組合、東部、西部、
関原を推進するに当たり、
認定農家、大規模農家、農
業委員、農家組合長などを
取り込んで協議を重ね、リ
ーダーの育成を図るなど行
政の積極的な姿勢が見受け
られた。

一般質問

市原 時夫 議員

町政の課題を問う

木質バイオで
エネルギーの地産地消を

町長 木質バイオの利用を検討

福島原発の事故以来、汚染水の拡散、先の見えない避難住民の苦しみの中で、原発の低コスト論は破綻し、人類と共存できない原発の恐ろしさが、裁判でも明らかにされた。

実用化されてきた地域エネルギーの地産地消として、経済効果もある木質バイオマスエネルギーの活用を検討してはどうか。

すでに南房総市では、活用が進んでいる。雇用や有害鳥獣対策を含めた環境整

過去の想定を越えた、大雨対策を

空振りを恐れず対応

議員 地球温暖化の中、いつ陸沢町に集中豪雨的な災害が起きてもおかしくないような事態が進んでいる。

河川への氾濫防止として、根本的に雨量予測を見直す必要がある。

局地的な雨量対策として、河川の上流部の情報も含め、局地予報情報システムを取り入れてはどうか。

避難する余裕を見て早目の周知をすることが必要で



木質バイオマス (南房総市)

はないか。

町長 大雨に対し、新たな基準での運用も試行してい

備、若者定住という視点からも効果があると思うが。

町長 町の自然を有効に活用した再生エネルギーとして、木質バイオマスエネルギーが考えられると思います。

千葉県でも木質バイオマス、新用途開発プロジェクトへの支援と地域資源循環モデルの創出を推進しております。

過去の想定を越えた、大雨対策を

空振りを恐れず対応

はないか。

町長 大雨に対し、新たな基準での運用も試行してい

ます。避難勧告の空振りもおそれず発令します。

大雨情報は茂原市とも連携をとりの確な避難勧告につなげます。

総務課長 時間雨量50mmの設定ですが、県は見直す予定はないとのことです。



増水した南川橋

家屋の耐震診断助成の充実を

制度の普及啓発を

議員 新たな大地震予測の中で、これまでは家屋の全壊108戸半壊558戸と予想されているが、見直しはあるのか。

総務課長 これから見直されるかと考えます。

議員 耐震診断を急ぐための助成を充実すべきでは。

町長 耐震診断の助成を実施しています。広報やホームページなど、制度の普及啓発に努めます。

重度障がいの方への医療費窓口無料化は

来年8月から実施します

議員 千葉県が来年8月から、重度心身障害者(児)の医療費の窓口無料化に対応すると表明した。

しかしながら一方で、新たに一回当たりの自己負担を導入するようだが、町として助成により自己負担をしないようにしてはどうか。

町長 町としても、来年8月から実施します。また、自己負担分も上乗せ助成したいと考えます。

さらに、65歳以上で、新たに重度障害となった方も、県の考えは対象外ですが、本町は従来どおり、新規の方も対象とします。

一般質問

清野 彰 議員

50年・100年後を
視野に入れた里山再生を急げ

町長 各ボランティア団体と協議してまいります

町周辺の山を見てみると、光が入らないほど密集した雑木林に覆われている。50年以上前は、尾根道から富士山や海が見えていたという。時代の流れで、炭焼きや子どもたちが山で遊ぶことがなくなり人の手が入らなくなった里山は、森も原生林化し有害鳥獣のすみかになっていく。50年後、100年後を視野に入れ、美しい自然を取り戻すためにも長期にわたる継続性のある里山再生が必要と考えるが、



町長 県の計画ともあわせ地域との合意形成の推進や、各ボランティア団体と町のかかわり方について協議してまいります。

議員 里山や森の魅力は多くある。地域によって地形が異なるが、自然を生かした睦沢町にしかない魅力ある里山や森をつくる必要があるのでは。

町長 現在町では里山の再整備計画を策定中です。

議員 耕作放棄地を含め里山整備は長期にわたる継続性の作業になる。作業はボランティア活動がメインになってくるが、活動を定着させるための取り組みは。

町長 里山サポートクラブを立ち上げ、従来のNPO法人や各地区との連携を取りながら進めてまいります。

議員 里山は古道ともつながっている。観光面や健康面等を考え、モデルケースをつくる考えは。

町長 ふるさとの森、やすらぎの森を進めながら、それがうまくいけば全体に広げて行くことを考えています。

竹や木材を有効活用する考えは

十分検討し、対応します

議員 宅地内や里山で出る竹や木材の廃材はほとんどが焼却されている。しかし、再利用の観点から見ると、竹は利用価値が高い資源である。竹をパウダーにしたい肥に利用できることや、竹チップを雑草防止に役立てることができる資源である。将来増加してくる廃材の取組みはあるのか。

町長 竹パウダーは、たい肥として有効資材であることはわかっております。有機センターへの導入は、投資効果や運営上の問題等があり十分検討して有効活用に向けていければと考えています。

議員 竹や木材をパウダーやチップにして試験的に進めていくには、粉碎機が必要になる。また、里山再生整備が進んでくると処理や保管場所等の問題が発生してくる。環境面も考慮して粉碎機を導入する考えはあるのか。



粉碎機

町長 現在、導入の予定はありませんが、十分検討し対応してまいります。

一般質問

荻野 新衛 議員

老人に元気を、子育てに十分な環境を 減少人口の補充でなく、流出抑制を

町長 住民・議会・行政で考察しながら人口減少対策を展開

若者定住施策として、土地、住宅取得補助金等、リバーサイドタウンの建設やパークサイドタウンの分譲地、子育てやスマートウェルネスタウン構想による生産年齢人口の確保を目指すと共に里山資本主義の精神により金銭換算できない価値観を地域内で循環させる

日本創成会議より人口減少について、衝撃的な報告があったが、人口減少に対応する対策について伺いたい。
町長 本町の人口は平成21(29年)の間約51人減少すると予測されていますので平均すると年間69人の減少となります。



ことで、住民、議会、行政で考察をしながら積極的に推進し人口減少対策を展開していきます。

議員 人口の減少する分は施策で増加したとのことだが、その後が問題と思う。若い世代は学校を卒業したら町から流出してお年寄りを増やすだけではないかと思う。小さな自治体はたくさんある。減少人口を補充するのではなく、老人に元気に健康でいてもらい、子供を産み育てる環境を目指すべきと考える。魚を与えるのではなく、魚のとり方を教える施策が必要と思うが。

町長 人口減少を止めるには町内にいる人達を町外に流出させないとのこと、アパートや貸家がない中で外に出る若者を引き止める方法としてリバーサイドタウンの発想も出た訳です。
議員 リバーサイドタウンの入居世帯に町内から1世帯と説明を受けたが、その数字に間違いはないか。
町長 18戸中2世帯が町の方の入居です。

睦沢町の水田農業をどう守るのか

26・27年度の効率的な補助を利用しながら

議員 米の価格は需給バランスで決まるが、生産資材の高騰、農業従事者の高齢化、米価の大幅な下落の中で生産意欲を失ってしまう恐れがあり町の地域環境の悪化を招くのではと考える。

長南町では、素晴らしいプランができているのになぜ本町でできないのか。

水田農業を守ることにについてどう考えているか。

町長 米価下落の中、販売収益の減少が続いている状況にあります。

今後、小規模農家での水

稲生産で利益を確保することとは困難であると考えます。農業機械の有効利用的な稼働、農地集積による作業効率の向上など大規模な経営が不可欠になっていると考えます。

国としても抜本的な改革とのことで農地中間管理機構を設立し集約化を図ることが始まりました。26年、27年度はこの補助率が一番効率的な時期ですので、この制度を利用しながら町農業を守る方策を出していく方向です。



農業活性化推進事業説明会 (大上)

一般質問

田邊 明佳 議員

総務省自治大学校の活用など 女性幹部を増やすための取り組みは

町長 本人の意向も十分取り入れながら

政府は平成32年までにあらゆる分野で指導的地位の3割以上が女性になるように目指すとしている。

この町において、女性の活躍する場を作っていくことは、開かれた先進的な町というイメージにつながると思う。

本町では何年で3割以上達成の見込みか。

町長 国から詳細が示されておらず目標達成の見通しは立っていません。

議員 総務省自治大学校では女性幹部候補生を増やすために研修を増やしたが、活用の考えは。

町長 研修については本人の意向も十分取り入れながら活用していき、また職員に自ら意欲を持ってもらうよう取り組んでいきます。

議員 意欲を持ってもらう意向を確かめる。そういった以前に町長の意識改革が急務では。

町長 まず私の意識から変えていきたいと思っています。よろしくご指導お願いします。

想定外な災害が多いなか、危険か所への対応は

今後、注意看板等を設置します

議員 近年想定外な災害が多く、未だ復旧しない榎戸橋も道路面が崩れるとは想定されていなかった。大雨が降った場合、榎戸橋など

のように通れなくなる橋も出てくるかと思う。以前も質問した一般的に見て危険

と思われるか所等への看板設置はどうなっているのか。

町長 議員からも何回かご指摘いただいたように、今後注意看板等を設置し対応を図ってまいります。

町の農業に対する方策は万全か

課題も山積みですが、強い農業にするため推進

議員 26年産米の価格は大幅に下落し、離農も加速される可能性がある。町は集

落営農を推進し、中間管理事業の活用を進めるそうだが、その方策で万全か。ま

た、農業に魅力を感じづらい厳しい状況になってきたが、後期基本計画にある若

議員 道路台帳の関係資料の管理規則ではホームページに道路台帳は載せられないはずだが。載せて良いのか。

生活環境・地域整備担当主幹 道路台帳の中のを抜き出したもので台帳自体は保管してあります。

議員 抜き取ったということとは道路台帳の一部であり、載せるのであれば関係法令

を変えていくべきでは。主幹 もう一度、要綱等精査してまいります。

者には魅力ある農業振興はどう進めていくのか。

町長 万全ではありませんし課題も山積みですが、陸

沢町の特徴をいかし6次産業化、集落営農の推進など

農業競争力のある強い農業にするため推進していきます。また若者に魅力ある農

業は、農業で生計を立てられることが第一であり、地域リーダーの育成やJA、農業事務所など関係機関の連携をさらに推進していきます。



議員 むつざわ米のブランド化、6次産業化は進んでいないのが現状かと思うが、また、ふるさと納税で米を送付するときパンフレット等が入らなかったらしいが、むつざわ米を宣伝する気が本当にあるのか。

町長 6次産業化には道の駅のさらなる拡大が重要か

町長 6次産業化には道の駅のさらなる拡大が重要か

町長 6次産業化には道の駅のさらなる拡大が重要か

町長 6次産業化には道の駅のさらなる拡大が重要か

町長 6次産業化には道の駅のさらなる拡大が重要か



こども園の歌完成披露

睦沢こども園の歌「たのしい こどもえん」が完成し、9月9日に議場で園児により披露されました。近隣市町村の幼稚園・保育園では我が睦沢町が初の園歌制定だそうです。

この歌詞の中には「こんなこども園であたい」「こんな子どもたちでいてほしい」という願いが込められています。今後子どもたちと保護者のみなさんはもとより、多くの方々に末永く愛され、歌い継がれていくことを期待します。

千葉県町村議会議員研修会

平成26年度千葉県町村議会議員研修会が、8月1日にオークラ千葉ホテルに於いて開催されました。

日本経済研究センター理事・顧問で法政大学教授の小峰隆夫氏には「人口減少下の日本経済と地域」を、元総務大臣で慶應義塾大学教授の片山善博氏には「地方議会への期待と議会改革」という演題で講演をいただきました。



睦沢町議会災害対策本部（議会対策本部）の設置要綱を制定

本要綱は、地震等の災害が発生した時に、睦沢町災害対策本部（町対策本部）と連携し、議員自らが迅速かつ適正な対応を図り、災害応急対策・復旧復興活動を積極的に支援するとともに、町民の生命と財産の保全に努めるために必要な事項を定めるものであります。

長生郡町村議会議員・事務局職員合同研修会

平成26年度長生郡町村議会議員・事務局職員合同研修会が10月3日プラザハイアン茂原に於いて開催されました。

読売新聞東京本社 編集局次長の玉井忠幸先生を講師に招き「安倍政権における政治情勢と今後の展望」を演題にした講演を拝聴いたしました。

議 会 活 動 日 誌

月 日	行 事 内 容	月 日	行 事 内 容
8 月	1 日 県町村議会議長会研修会	9 月	20 日 瑞沢小学校運動会
	産業建設常任委員会		22 日 長生郡町村議会議長会臨時会
	5 日 決算審査 (～ 6 日)		農業委員会総会
	7 日 長生病院運営委員会		26 日 議会だより編集特別委員会
	11 日 学校等問題調査検討委員会		広域市町村圏組合決算審査特別委員会
	14 日 産業建設常任委員会		27 日 大多喜町合併60周年記念式典
	20 日 例月出納検査	10 月	3 日 郡町村議会議員・事務局合同研修会
	農業委員会総会		4 日 こども園運動会
	21 日 産業建設常任委員会		5 日 第 5 支団秋季訓練
	25 日 国民健康保険運営協議会		8 日 決算審査特別委員会 (～ 9 日)
	26 日 広域市町村圏組合議会定例会		15 日 議会だより編集特別委員会 (～ 16 日)
	一宮聖苑組合議会		17 日 健康づくり推進協議会
	27 日 議会運営委員会 全体会議 全員協議会		広域市町村圏組合議会例月出納検査
	議会改革特別委員会		18 日 土睦小学校運動会
	29 日 九十九里地域水道企業団理事会		20 日 農業委員会総会
	かずさ有機センター運営協議会		21 日 産業建設常任委員会
	30 日 ロードレース大会役員会		22 日 例月出納検査
9 月	6 日 睦沢中学校体育祭		26 日 結婚50周年 (金婚式) 祝賀会
	9 日 第3回議会定例会 (～ 10 日)		29 日 郡町村議会議長会視察 (～ 30 日)
	16 日 社会を明るくする運動睦沢町推進委員会		31 日 議会だより編集特別委員会

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

第4回(12月)定例会は
12月12日(金)から
開催の予定です。

詳しくは、
議会事務局 44-2510へ
お問い合わせください。



厳しい暑さの夏も足早に過ぎ、いよいよ秋も深まっています。

今年も異常気象のせいか、豪雨による災害も多く、また突然の火山噴火により、多数の尊い命が奪われました。亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りするとともに、防災に対する意識を更に強めなければならな

いと考えます。
議会だよりは、議会の内容を興味深く、正しく理解していただき、また楽しく読んでいただくことが理想だと思っています。

今後にも更に検討して理想に近づけたもので、町民の皆様にも納得してもらえるような、充実した内容でお届けできるように努力してまいります。

Y・A